

□第11期 第1回 外国人市民会議のまとめ

〔日にち〕 令和7年（2025年）8月26日（火曜日）

〔時間〕 午後19時から20時15分

〔会議をした場所〕 とよなか国際交流センター 会議室2B

〔会議に出た人〕

委員：AVDIUSHENKOVA IRINA 委員、OZTURK ORHAN 委員、RIDZUAN NADIA 委員、魏 群委員、
金 喆鎬委員、沈 敏茜委員、曾 啓明委員、張 紅梅委員

事務局：津田市民協働部次長兼人権政策課長、村上副主幹兼係長、橘田

〔会議で話した内容〕

案件1. 外国人市民会議について

→ 資料1『外国人市民会議設置要綱』を使って、会議をする目的、構成について説明しました。

案件2. 座長と職務代理の選出について

→ 金 喆鎬委員が座長に決まりました。AVDIUSHENKOVA IRINA 委員が職務代理に決まりました。

案件3. 第11期のスケジュールについて

→ 資料2『第10期豊中市外国人市民会議報告書』、資料3『第11期スケジュールについて』、資料5『外国人市民会議の提言の実施内容について』を使って、これまでの意見や市の取り組みに活かした内容、これからのスケジュールについて説明しました。

案件4. やさしい日本語

→ やさしい日本語について説明しました。

案件5. 動画の作成について意見交換

→ 日本での生活で困ったことについて意見を言い合いました。

<会議で出た意見>

- ・名前を呼ぶときに、漢字が読めません。日本人が見てもどう読むのか悩む名前があります。間違っていたらいけないので、日本人の名前の読み方が難しいと感じます。
また、「ご遠慮ください」や「お控えください」という言葉は、「少しでもあればやってもよい」という意味だと思っていました。禁止と書いてあれば、やってはいけないとわかります。日本語の意味が分からずにやってしまい犯罪になってしまうことがあるかもしれません。はっきりと言ってほしいです。
- ・敬語や丁寧語が今でもわかりません。相手に対して失礼なことを言ってしまうのではないかと不安に思う時があります。やさしい日本語で言ってくれたらもっといいと思います。

- ・子どもの学校入学に関する説明が詳しくなく、手続きが難しいと感じました。持ち物リストがあり、日本人にはわかるかもしれませんが、外国人にはわかりません。学校で履く上履きもいろいろな種類があります。どれが良くてどれがダメかわかりません。また、私の国では豚肉を食べない文化があります。学校の給食にはほとんど豚肉が使われているため食べるのが難しいです。
- ・日本に来たばかりの時、電車の駅案内が分かりにくく、間違えてしまうことが多かったです。大学で働き始めた時、機械の説明書が日本語しかないため困りました。何度も聞くのも遠慮してしまいました。外国人が多かったらそんなことはないですが、日本人の中に外国人が自分一人だけだと聞くのは難しいと思います。
言葉を学ぶには、その国の文化を学ぶ必要もあると感じます。100%理解はできないと思います。でも、ある程度住みやすく不便を感じないくらいのやさしい日本語を使ってもらえたらと思います。
- ・敬語が難しいです。
外国人だとわかれば英語で話しかけてきます。でも、日本語が少しわかるとなれば、敬語で説明されて困りました。
日本は建前の文化があります。嫌であっても直接相手に言わないことが多いです。何も言わないから大丈夫とこちらは思ってしまう。また、漢語や四字熟語などの自分の国にない言葉があります。その時の理解が難しいです。
- ・子どもが学校からもらってくるお便りの数が多いです。読み終わるととても疲れます。お便りを作る先生たちも大変だと思います。少し減らしたほうがいいのかと思います。
- ・日本語で「話す」、「聞く」が難しい時があります。日本人は優しくて分からないという顔をする、もう一度言ってくれます。でも、敬語のままだとゆっくり話してもやはりわかりません。敬語だけでなく、もっとやさしい日本語で話してくれたらとても助かります。
- ・自転車の交通ルールが厳しくなります。ルールを守りたいと思っても何が変わったのか、どうしたらいいのかわかりません。詳しい説明があればいいと思います。
また、「前向き駐車禁止」の表示の意味がわからず、困ることがありました。なぜ前向き駐車が禁止か理由もわかりませんでした。周りに車が停まっていないときはどう停めたらいいのかすごく悩みました。

案件6. その他

→資料6『ニューズレターの作成について』、参考資料2『豊中市外国人市民会議ニューズレター No.18』を使って、ニューズレターの作り方について説明しました。また、次の会議の日にちについて説明しました。